



いばらきダイバーシティ宣言

急速な人口減少社会の進展や少子高齢化、経済・社会のグローバル化の進行など、社会情勢は大きく変化しております。

このような中、活力があり、持続可能な地域社会をつくるためには、多様な人材の活用により、ニーズの変化や急激な環境の変化などのリスクへの対応力を高めることが重要であると考えます。

その実現のためには、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわりなく、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現が求められています。

私たちは、ダイバーシティ社会の実現に向けて次のことに取り組むことをここに宣言します。

TGC 東京がんクリニックは、すべての人が「自分らしく生きる権利」を守り、個々の違いを尊重されながら最善の医療を受け、能力を最大限に発揮できる環境を築くことを目指します。

1. 年齢、性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認、宗教、経済状況など、いかなる属性にも関わらず、すべての患者様、ご家族、スタッフを等しく尊重し、その個性と強みを活かして安心して治療を受け、働くことができる環境を提供します。
2. がん診療を通じて患者様一人ひとりに寄り添い、身体だけでなく心と社会生活の不安にも向き合う「全人的医療」を実践し、患者様 QOL（生活の質）の維持・向上と尊厳ある人生をサポートします。
3. スタッフの多様なライフステージや働き方を尊重し、経験や専門性を最大限に発揮できる職場環境を整えることで、スタッフ一人ひとりが自己実現を図り、患者様へのより質の高い医療提供につなげます。
4. 多様なステークホルダーと積極的に連携し、誰もが住み慣れた場所で最善のがん医療を受けられる社会の実現に貢献します。
5. ダイバーシティの重要性を院内外に発信し、最新の医療技術や多様な視点を取り入れながら、持続的な革新と成長を続けてまいります。

令和7年11月19日

TGC 東京がんクリニック

院長 小林 賢次